

# 酒津漁港の堆砂対応について

- 酒津漁港で隔年実施しているサンドポケット浚渫土砂の養浜先について、地元漁業関係者との調整の結果、漂砂系内への養浜量3,000m<sup>3</sup>程度とし、その量を超える分は、やむを得ず水尻海岸漂砂系外（酒津漁港西側）へ養浜する方針となりました。
- 今後も水尻海岸漂砂系として、漂砂系内に3,000m<sup>3</sup>程度を目標に養浜を継続して行い、水尻海岸の汀線確保のため、引き続き、深浅・汀線測量によるモニタリング結果を注視し、汀線状況の把握に努めます。
- R7年度サンドポケット浚渫 18,500m<sup>3</sup>、R8年度サンドポケット浚渫（予定） 17,000m<sup>3</sup>  
※本来、R6年度に実施すべきサンドポケット浚渫について、地元調整に時間を要したことから、予算繰越してR7年度実施となる。

## 位置図

